

財団法人 損保ジャパン美術財団

平成18年度(2006年度)事業計画

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

I 方針

1. 展示活動を活発に行い、多くの人々に親しまれる美術館として美術文化の振興につとめる。
 - (1) 特別展においては当美術館としての特性を生かし、国内・外美術館等から優れた美術品を招致する。
 - (2) 館外展を含め館蔵作品の貸し出しを通じて、国内・外地域との文化交流を図る。
2. 優れた美術家の表彰ならびに支援によって美術界の発展に寄与する。
3. 社会教育、特に青少年を対象とした教育・普及活動を推進する。
4. インターネットのホームページを充実し、展覧会などの情報サービスを強化する。

II 事業

1. 損保ジャパン東郷青児 美術館の運営

(1) 展示関係

① 特別展

1) 英国シャーリー・シャーウッドコレクション

「現代植物画の巨匠展」ボタニカルアートのルネサンス

(平成18年4月22日～7月2日)

ボタニカル・アートとは、16世紀のヨーロッパで始められた植物画のこと。植物を正確に描写していることに加え、美しく高い芸術性を持っているのが特長です。本展ではボタニカル・アート収集の第一人者であるシャーリー・シャーウッド博士の作品120点を日本で初めて紹介します。

2) 「現代アメリカ美術展」

～リキテンシュタイン、アンディー・ウォーホール～

(平成18年7月8日～9月3日)

革新性に満ちたアメリカのアートシーンを紹介する展覧会。絵画作品を中心にリキテンシュタイン、アンディ・ウォーホール、ピーター・ハリーら40作家の約100点でアメリカ現代美術の側面を紹介します。

- 3) ヨーロッパ絵画の400年「ウイーン美術アカデミー名品展」
ー ルネサンスから近代までー クラナッハ、ルーベンス

(平成18年9月16日～11月12日)

ウイーン最古の公共美術館「ウイーン美術アカデミー」の名品を紹介する展覧会。クラナッハ、ルーベンス、レンブラントなど約70点の作品によりルネサンスから19世紀末までのヨーロッパ絵画の流れを展観します。

② 企画展

- 1) 第28回損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞記念「大津英敏展」

(平成18年11月23日～12月26日)

第28回となる「損保ジャパン東郷青児美術館大賞」を受賞した作家、大津英敏の個展。

- 2) 「DOMANI・明日」展 2007

(平成19年1月11日～2月18日)

文化庁の芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)で派遣された研修生の帰国後の成果を披露する展覧会。本年度は日本画部門で活躍している作家の作品を紹介する。

- 3) 「第26回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」

(平成19年3月1日～3月30日)

36公募美術団体展で「損保ジャパン美術財団奨励賞」を受賞した平面作品36点と推薦委員により推薦された平面作品約30点を展示。あわせて展示作品から優れた作品を選考、表彰する。

③ 併設展示

- 1) 常設展示コーナー

ゴッホ「ひまわり」、ゴーギャン「アリスカンの並木道、アルル」、セザンヌ「りんごとナブキン」を原則として常設展示する。

- 2) 所蔵作品展示コーナー

各展覧会とも開催期間中、所蔵作品展示コーナーを併設し、東郷青児作品他を展示する。

④ 館外展

- 1) 池口史子と東郷青児美術館大賞展

開催場所: 岐阜県美術館、ひろしま美術館

開催期間: 平成18年5月～9月(予定)、出品作品: 油彩など10点前後

- 2) 東郷青児展

開催場所: 網走市美術館

開催期間: 平成18年10月(予定)、出品作品: 油彩、素猫、彫刻など40点前後

(2) 館藏品・資料・文献の充実

① 館藏品の修復・点検

館藏品の保存状態を的確に把握するため定期的に点検および記録写真の撮影を行い、作品の劣化防止に適切な手段を講じるほか、必要に応じて作品の修復、額縁の修理・取り替えを行う。

② 資料・文献の収集・整備

館藏品および展示作品に直接あるいは間接的に関連した資料・文献を収集し、学芸研究および展示活動の充実を図る。

③ パソコンの有効活用による資料・文献の収集・整備

パソコンの有効活用を図り、資料・文献の収集・整備、インターネットの活用による他館情報などの入手を積極的に行う。

(3) 調査・研究

① 学芸職員の研修

適切な指導・助言のもとに資料研究あるいは保存・展示技術の研修を進める。また、学会や各種機関の研修会・講座などに参加するほか、特色ある美術館や展覧会の見学などを通じ、学芸員の能力向上を図る。

② 各種図録・解説書の刊行・頒布および説明会の開催

各種展示の理解を助けるため、図録、解説書を作成するほか説明会などを随時開催し、展覧会の充実に役立てる。特に、青少年を対象とした解説書の作成、説明会の実施などを積極的に推進する。

(4) 公共への協力

① 博物館実習生の受入れ

各大学からの学芸員資格取得のための博物館実習生の受け入れ要請に協力する(10大学10名予定)。

② 施設・資料の共用

公共体、教育機関あるいは美術研究者等より、美術に関する調査・研究・実習のため施設および資料共用の要請を可能な限り協力する。

③ 他美術館との連絡・協調

博物館会議、美術館会議などに出席して情報の交換を行うほか、随時見学等を行い、他美術館との連絡・協調を密にする。

- ④ 美術品の貸し出し(館外展を除く)
現時点なし

(5) 広報活動

① マスメディア

新聞、雑誌、テレビ等マスコミの取材に積極的に対応するほか、インターネットの積極的活用を含め広告媒体についても多様化を進め、展覧会および美術館の広報を行う。

② ホームページ(インターネットによる発信)

ホームページにおいて自館の展覧会情報、所蔵作品情報とともにゴッホ美術館関係の情報提供を行っていく。

(6) 教育活動

学校など外部機関の教育活動としての美術館利用に協力し、教育活動の実を上げる。

2. 優秀な美術家の表彰

(1) 損保ジャパン東郷青児美術館大賞

- ① 第29回(2005年)受賞者の表彰を行い、賞状と賞金200万円を贈呈する。
- ② 第30回(2006年)受賞者を1名選考する。(平成18年3月の予定)

(2) 損保ジャパン美術財団選抜奨励展及び同展における優秀作品の表彰

第26回展となる本展では、各団体の奨励賞受賞作家の作品と推薦委員から推薦された作家の作品を加えた展覧会を開催し、出品作品の中から優秀な作品を選考、表彰する。

展覧会は共催新聞社の協力を得て広報宣伝に努めるとともに巡回展の開催を検討し、新進美術家支援を積極的に推進する。

3. 新進美術家の援助育成

(1) 損保ジャパン美術財団奨励賞

36団体の公募展に奨励賞を授与する。

以上